



ペダルでつなぐ地域観光圏創出事業

— PBL を基盤とした広域地域連携モデルの構築 —



地域の方々とエイドステーションを設け、サイクリストを支援している様子

協働・共創団体の種別

NPO	地縁	社協	学校 大学	企業	行政	その他
-----	----	----	----------	----	----	-----

協働・共創団体

- ・東金市
- ・九十九里地域観光連盟
- ・学校法人 城西大学 城西国際大学

計3団体

■事業費 65 万円程度（年間）

■資金調達手段 運営団体負担

事業概要

本事業は、山武郡市におけるサイクルツーリズムの推進を目的として、地域連携事業を大学の正課授業（単位化）として実施している取り組みである。学生の実践的な学びと地域の観光振興を結び付ける PBL（課題解決型教育）として展開しており、学生は道の駅を地域観光の基点として位置付け、地域資源を活用したサイクルートの造成、観光コンテンツの企画・制作、情報発信、観光イベントの企画・運営などを行い、地域におけるサイクルツーリズム推進モデルの構築に取り組んでいる。また、東金市商工観光課や九十九里地域観光連盟をはじめとする行政・観光団体・民間事業者と協働し、自治体の枠を越えた広域的な観光資源のネットワーク化やサイクルツーリズムイベントの運営支援、サイクリスト向けサービスの企画・提供を実施している。教育活動を通じて、学生の実践的な学びと地域活性化、山武郡市における広域観光の推進を両立するとともに、学生活動を介した新たな「関係人口」の創出を目指している。

協働・共創までの経緯

本事業は、2022 年度に東金市と城西国際大学との連携協定を契機として開始された。当初は、東金市を中心に、通年観光の実現を目指したサイクルツーリズムの推進や、道の駅を拠点とした観光モデルの構築に取り組んだ。その後、2023 年度には東金市も加盟する九十九里地域観光連盟との連携へと発展し、東金市のみならず山武郡市全体を対象とした広域サイクルートの造成や、自治体間が連携した観光振興事業へと展開した。学生は、地域の行政機関や観光団体、民間事業者と協働しながらルート造成や地域資源の調査・活用を進め、広域観光の基盤づくりに取り組んできた。さらに 2025 年度には、九十九里町が後援するサイクルイベント「Beach Flow Ride」において、学生が造成したサイクルルートがイベントコースとして活用されるとともに、周遊企画の立案やサイクリストへのサポート、イベント運営にも参画した。これにより、大学で蓄積してきた教育・研究成果が実際の地域事業へと実装され、行政・観光団体・民間事業者・大学が協働・共創する広域的な地域連携モデルへと発展している。

主な事業内容（スケジュール等）

- ①活動内容：2022 年 4 月から実施（連携協定締結）
- ②事前調査：2021 年 4 月から実施
- ③毎年のスケジュール：授業開始（4 月）、道の駅視察（東金）（5 月）、地域外事例視察（7 月）、コース制作、地域イベント協力、学生独自イベント制作実施、中間報告（9 月～11 月）、最終報告（2 月）

協働・共創団体内での役割分担

●城西国際大学

- ・東金市におけるサイクルツーリズムコースの制作
- ・道の駅を基点としたサイクルツーリズムの企画実践
- ・東金市での取り組みを山武郡市へ横展開した広域コースの制作
- ・広域コースを活用した企画・イベントの企画実践

●東金市

- ・サイクルツーリズム関連事業における庁内調整
- ・道の駅事業、B.B.BASE 事業等)
- ・視察事業・講演会事業の運営支援
- ・事業実施に必要な物品・資材の調達

●九十九里地域観光連盟

- ・各市町と観光関連事業者との広域連携・調整
- ・広域事業の推進に向けた合意形成・事業化の判断
- ・広域プロジェクトの推進主体としての役割

協働・共創事業によって生まれた成果

- ・本学学生が関係人口として継続的に地域活動へ参画
- ・東金市及び山武郡市におけるサイクルルートの整備
- ・大学が地域観光を推進する連携体制に参画
- ・農業従事者や飲食店など、多様な地域主体が観光に参画する仕組みの強化

※結果として、国土交通省「道の駅と大学」連携事業における先進事例として評価を受けるに至る



コラボのコツ!!

★コツ1 行政区分を超えた広域連携

つなぐ(行政区分を超える)

本来、山武郡市に息づいてきた自然・歴史・文化のつながりを可視化し、一つの地域観光圏としての魅力を育む。

★コツ2 一つの行政での活動を横展開

広げる(横展開する)

各地域で学生が実践した成果を、モデル化し、他地域へ横展開するとともに、広域での実践へと発展させる。

★コツ3 地域外での学びをみんなで共有

還元する(先進事例を地域に活かす)

学生が地域外の先進事例を視察し、得られた知見を地域に合わせて再構築し、地域全体の実践へと還元する。

今後力を入れていきたいこと

大学は引き続き地域との協働を通じて、学生の学びと地域観光の実践を結び付ける役割を担うとともに、サイクルツーリズムを契機に築いた連携を他の地域活動へも発展させ、持続的な地域観光の推進とサイクルツーリズム事業のさらなる充実を目指していきたい。



協働・共創事例プロフィール

【活動開始年】2022 年 4 月

【活動の PR 手法】城西国際大学観光学部及び地域連携推進センター

(<https://www.jiu.ac.jp/tourism/news/detail/id=20994>)(2025 年度事業)

【表彰歴・マスコミ掲載歴等】

国土交通省主催「道の駅×大学連携事例発表会」(2025 年 3 月)

千葉テレビ「大学と地域が連携し地域課題解決目指す「域学共創プロジェクト」」(2025 年 2 月)など

【問い合わせ先】

担当者:金子(城西国際大学観光学部助教) 電話番号:0475-55-8895 メールアドレス:kanecom@jiu.ac.jp